

新・とくしま高齢者いきいきプラン（素案）について

<徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画>

1 計画策定の趣旨

「本格的な超高齢社会」を迎えている我が国において、本県は、全国よりも早く高齢化が進行しており、今後の地域社会を誰がどのように支えていくかという点でこれまでの意識を大きく転換し、高齢者自身にも生涯現役で地域を支える主役としての活躍を求めていく必要がある。

こうした状況を踏まえ、人口減少・超高齢社会が直面する課題に対し、全国屈指のブロードバンド環境や充実した医療・介護環境を活かし、徳島ならではの視点で処方箋を示すものとし、計画の副題を「～人口減少・超高齢社会に立ち向かう徳島からの逆転戦略～」とする。

2 計画の性格

- (1) 「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業支援計画」を一体的に策定し、今後の本県の高齢者保健福祉施策全般の方向性を明らかにする。
- (2) 市町村の「高齢者福祉計画」及び「第6期介護保険事業計画」との整合を図りながら、介護サービス見込量等を踏まえたサービス提供体制について定める。

3 計画期間

平成27年度～平成29年度の3年間

4 計画の基本理念

～自分らしく☆徳島らしく

高齢者も地域も“未来に向けて光り輝くとくしま”の実現！～

5 重点戦略

- (1) 地域を担い、生涯現役で躍動する高齢者の創出と活動促進
- (2) 見守り、支え合う「ほっとけん」と「お接待」が溢れる地域づくり
- (3) 地域特性と未来予測を踏まえた介護サービスの充実と適正な運用

6 推進方策

(1) 地域を担い、生涯現役で躍動する高齢者の創出と活動促進

- ① 高齢者像の転換
- ② 健康づくり・介護予防の推進
- ③ 生きがいづくり・社会参加の促進
- ④ 敬老理念の普及・啓発

(2) 見守り、支え合う「ほっとけん」と「お接待」が溢れる地域づくり

- ① 地域包括ケアシステム構築の推進
- ② 高齢者が住みやすい地域づくり
- ③ 在宅医療・介護連携の推進
- ④ 高齢者の権利擁護と尊厳の確保
- ⑤ 認知症高齢者対策の推進
- ⑥ 減災・防災対策の推進

(3) 地域特性と未来予測を踏まえた介護サービスの充実と適正な運用

- ① 介護サービスの基盤整備
- ② 高齢者の多様な受け皿の整備
- ③ 介護人材の推計と育成・確保、専門性・介護技術の向上
- ④ 介護保険財政の安定化の推進
- ⑤ 介護サービスの高品質化

※サービス見込量等について、現在、各市町村で作業中であり、介護サービスの基盤整備、介護人材の推計値等は今後精査予定。

7 今後の予定

- | | |
|--------------------|-------------------|
| H26年12月
~H27年1月 | パブリックコメント実施 |
| H27年 2月 | 第4回計画策定委員会で計画案を審議 |
| H27年 2月 | 2月県議会委員会に計画案報告 |
| H27年 3月 | 計画策定 |

計画策定の趣旨

- 我が国は世界中のどの国も経験したことがない「本格的な超高齢社会」を迎えている。とりわけ本県は全国よりも早く高齢化が進行し、高齢者人口がピークを迎える2020年頃には県民の3人に1人が高齢者となると推計されていることから、今後の地域社会を誰がどのように支えていくかという点でこれまでの意識を大きく転換し、高齢者自身にも生涯現役で地域を支える主役としての活躍を求めていくこととする。
- 今回の計画策定にあたっては、こうした状況を踏まえ、介護保険制度改正への対応を行うことはもとより、人口減少・超高齢社会が直面する課題に対し、全国屈指のブロードバンド環境や充実した医療・介護環境を活かし、徳島ならではの視点で処方箋を示すものとする。

高齢者・介護保険等の状況

<少子高齢化等の進行>

● 高齢者等の人口推移

- ・総人口 ⑫824,108人 → ⑮769,844人(▲6.6%)
- ・65歳以上人口 ⑫180,637人 → ⑮221,437人(+22.6%)
- ・100歳以上人口 ⑫ 118人 → ⑮ 451人(+282.2%)

● 高齢化率等の推移

- ・高齢化率 ⑫21.9% → ⑮27.0% → ⑰34.2% → ⑲35.8%
- ・高齢者1人あたりの生産年齢人口 ⑫2.9人 → ⑮2.3人 → ⑰1.6人 → ⑲1.5人

● 出生数(合計特殊出生率)の推移

- ・⑫7,224人(1.45) → ⑮5,665人(1.43)

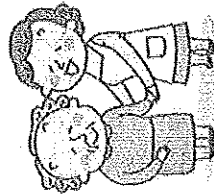
● 平均寿命と健康寿命の差(全国)

「平均寿命」「健康寿命」

- 男性 ⑮80.21歳 ⇄ ⑮71.19歳(差:9.02歳)
- 女性 ⑮86.61歳 ⇄ ⑮74.21歳(差:12.40歳)

● 認知症高齢者の推計(H22推計:介護保険利用者のうち日常生活自立度Ⅱ以上)

- ⑭17,955人 → ⑮21,412人 → ⑰27,911人 → ⑲31,488人



<世帯構造の変化>

● 高齢者のいる世帯(65歳以上の親族のいる世帯)の推移

- ⑮117,904世帯 → ⑰133,641世帯(+13.3%)

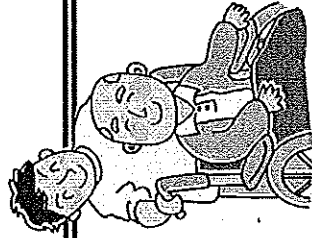
● 高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯の推移

- 単身: ⑮223,256世帯 → ⑰32,365世帯(+39.2%)
- 夫婦: ⑮27,662世帯 → ⑰34,784世帯(+25.7%)

● 高齢世帯の将来推計

- ※世帯主が65歳以上である単身及び夫婦のみの世帯の一般世帯総数に対する割合
- ⑮23.5% → ⑰26.6% → ⑲29.0% → ⑳30.2%

※高齢夫婦世帯=夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯



<介護ニーズの増大>

● 要介護認定者数

- ⑮25,588人 → ⑰46,200人(+80.6%)

● 介護給付費

- ⑮ 362億円 → ⑰689億(+90.3%)

- ◇ 平均寿命と健康寿命の乖離! ◇ 高齢世帯、認知症高齢者の増加!
- ◇ 若年層の減少による労働力や地域の担い手不足!
- ◇ 将来的な高齢者人口の減少による雇用の場の減少と人口流出の連鎖!

人口減少・超高齢社会が直面する課題の解決

～ 自分らしく☆徳島らしく

★ 高齢者も地域も“未来に向けて光り輝くとくしま”の実現！～



重点戦略と主な推進行策

I 地域を担い、生涯現役で躍動する高齢者の創出と活動促進



- 高齢者による高齢者のニーズを踏まえた地域貢献活動の仕組みづくりや創業の支援。
- ICT能力等高齢者が培ってきた知識・経験を地域に還元するボランティア活動や就労の促進。
- 平均寿命と健康寿命の差の縮小を図るため、阿波踊り体操を活用した運動機能低下予防をはじめとする介護予防の推進。
- 高齢者の得意分野を活かした地域における子育て力の向上に向け、研修から実践までの一貫した支援の推進。
- 文化・スポーツや子育て支援活動等による地域における多世代コミュニケーション機会の創出。



II 見守り、支え合う「ほっとけん」と「お接待」が溢れる地域づくり

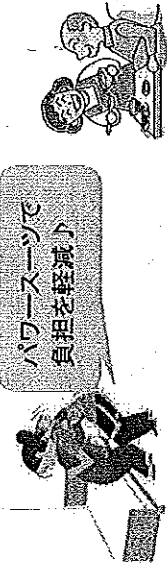


- 地域包括ケア推進会議を「推進エンジン」として全国に先駆けた2020年の地域包括ケアシステムの構築。
- ICTを活用した在宅医療・介護連携の推進、新たな基金を活用した在宅医療環境の整備。
- 本県発祥の友愛訪問活動の更なる活性化、認知症サポーター養成協力事業所登録制度による認知症高齢者見守りセンターの機能強化等、地域支援の輪の拡大。
- 子どもから高齢者、障がい者等全ての方が心豊かに生活できるよう、多世代交流・多機能型支援の拠点づくりの推進。
- 充実した医療・介護環境を活かした徳島ゆかりの高齢者の里帰り支援。



III 地域特性と未来予測を踏まえた介護サービスの充実と適正な運用

- 市町村のサービス見込量推計に基づいた適切な介護サービスの基盤整備の推進。
- サービス見込量に基づいた2020年、2025年の介護人材必要数の推計。
- 介護用ロボットの活用による介護業務の負担軽減等の職場環境の改善。
- 勤続年数や経験が適切に評価される人事給与制度の導入や勤務条件の見える化による更なる処遇改善。
- 若者向けのイベント等の機会を活用した介護職場のイメージアップ戦略の推進。



計画の進行管理・点検評価

学識経験者や関係団体の代表者等で構成された評価委員会を設置し、計画の進捗状況について点検・評価